

「びわ湖環境ビジネスメッセ2019」出展

| | |
|--|---|
| 日 時： 令和元年10月16日(水)～18日(金) 10:00～17:00(最終日16:00) | 今年度も協会としての出展は見送り、県(循環社会推進課)受託ブースでの出展となりました。 |
| 場 所： 長浜バイオ大学ドーム | |

今年度は『プラスチックごみを考える!』とのテーマを循環社会推進課より頂戴し、プラスチックごみに関するパネルを4枚作成し、展示いたしました。

(1)『日本のプラスチックごみの現状』、『プラスチックごみの悪影響』、(2)『バーゼル条約とその影響』、(3)『日本政府の取組～外国政府の廃棄物輸入規制等を踏まえた対策～』、『関西広域連合の取組～関西プラスチックごみゼロ宣言～』、『滋賀県の取組①』、(4)『滋賀県の取組②』、『事業者による取組』、『私たちにできること』の4枚です。

また、食品ロス対策として以前に作成した『フードエコプロジェクト』や『食品ロス削減』取組パネルも4枚活用して、展示致しました。

尚、プラスチックごみに関するクイズパネルも作成し、9枚のパネルにて来場者への普及啓発に努めました。

最近では海洋プラスチックごみが大きく報道される中、ご来場の皆様も情報は色々持たれており、パネルの内容をじっくり読む方やクイズを楽しむ方々、琵琶湖のプラスチックごみについての県の施策はどうなのかと聞かれる方々も居られました。

そして応えてもらった方々には景品と「ごみゼロしが」に関するチラシをお渡ししました。

たくさんの方々に来場してもらい、景品として用意していましたガバス(サトウキビ搾りかす)エコキッチンペーパーと会員企業の大木工芸様の高級あぶらとり紙(ヨシ紙ケース)3日間でそれぞれ500個がほぼ無くなりました。

また県から配布依頼があった、『三方よし!!フードエコ推奨店募集』の案内チラシも配りました。

その他にはブース内にパソコン・大型モニターにて、「資源化情報サイト」の各ページをローリング表示し、誰にでも直ぐに検索できる《ごみゼロしが》のPR活動も行いました。

また、会場での「ごみゼロしが」のメルマガアドレス登録は、今回はゼロに終わりました。

この3日間の受託ブースへの来場者は、約500名でした。ありがとうございました。

参考 [全来場者数:R1:25,610名/ H30:27,250名/H29 :34,270名]

『 県受託ブースパネルの内容 』

- ・ 「プラスチックごみを考える」および「食品ロス削減」への取組と提案パネル …8枚
- ・ 「プラスチックごみ」クイズパネル …1枚

【 クイズ・パネル説明・質疑応答 】



【景品】



【 ブース展示風景 】

